

ソーシャルスキルトレーニングVR



User's
Voice
vol.8



FACE DUO

FACEDUOを用いた魅力的なデイケア作りにより
利用者の増加に繋がる

東北精神保健会
青葉病院



当院について

患者様との心のふれあいを大切に、
お互いが納得できる医療を目指して

当院は、昭和26年4月 財団法人東北予防衛生会を設立、その後平成25年4月公益法人法の改正により一般財団法人東北精神保健会と名称変更しました。

精神科治療は、患者様とのふれあいが大切です。心に不安を抱いたりイライラしたり不安定な時こそ温かなふれあいが求められます。私たちは、患者様との心のふれあいを大切にしながらお互いが納得できる医療を目指しています。

FACEDUO導入のきっかけ

デイケアの再活性化を期待して

コロナが原因で当院のデイケア利用者が減少していました。一方、就労に意欲的な若い患者さんは、就労移行支援事業所を利用されるケースが多く、ステップアップしたい患者さんにとって満足して頂けるプログラムに改変すること、また、SSTにおいてはロールプレイに抵抗を示す患者さんに対しても取り組みやすい工夫が必要でした。

今回、FACEDUO導入をきっかけに、既存のスタッフのままで、大きくデイケアを一新することができました。FACEDUOを導入するまで、デイケアでSSTは十分に実施できていなかったのですが、今ではメインプログラムの一つとして、当院デイケアを語る上で、欠かせないプログラムになっています。

プログラムの大改編

SST-VRを中心にした内容へ



従来のSSTであれば、運用面で時間を取られるところですが、FACEDUOを活用したSSTでは、準備の煩わしさがほとんどないので、スタッフが交代で週3日、SSTプログラムを担当しています。

従来の生活訓練プログラムにFACEDUOを活用したSSTを週3回実施する内容に変革したことに加え、新たに就労を目指す患者さんにも通所して頂けるような就労支援プログラムを設置し、デイケアを大改編しました。

	月	火	水	木	金	土
9:00	開 所					
9:15～	ミーティング・体操					
9:30～	VR-SST	ストレッチ ハンドク ラフト VR-SST	VR-SST	リフレッ シュ VR-SST	VR-SST	個別 ミー ティ ング
12:00～	昼食・昼休み					
13:30～	ビジネスマナー 模擬就労 文書作成	リフレッ シュ ビデオ鑑 賞	ストレスマネジメント (心理師) リラクゼーション マナビ講座 (外部講師)	ダイエツ ト講座 ストレス マネジメ ント	ヘルスライフ (看護師・薬剤師・栄 養士) リフレッシュ	
14:45～	片付け 清掃					
15:00	閉 所					

生活支援プログラムとは別に、新たに設置した就労支援プログラム

就労支援プログラムに対するFACEDUOの親和性

新たに就労支援プログラムを組み込む際に、FACEDUOのプログラムが役立ちます。

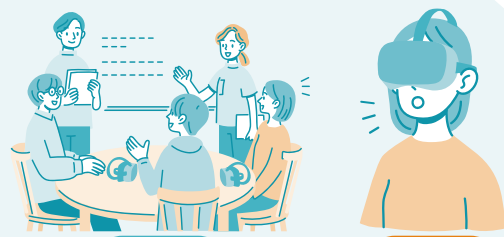
当事者の状況に併せたプログラムが選択可能



生活

就 労

集団・個別の両方のプログラムが実施可能



集 団

個 別

対人コミュニケーション



幅広い疾患（精神疾患・発達障害）が対象となる豊富なコンテンツ

当院でのFACEDUOの使い方

多い時は、利用者10名ほどがSSTに参加しています。

当院のVRゴーグルは3台ですので、3グループを作り、それぞれのグループにVRを配置して、グループ内で、状況体験・工夫発見・実践練習のパートをそれぞれVR体験してもらいます。実践練習は、VRだけではなく、対面でのロールプレイも組み合わせて実施しています。基本は、スタッフ2名で全体を運営していますが、医師や心理士などがグループに同席することもあります。そうすることで、より一層、院内でのSSTの普及が進んでいます。

コロナが落ち着いた今、患者さんの中にも人との繋がりを求め始めたり、コミュニケーションの課題を意識し始めた方が大勢いらっしゃいます。このタイミングで、FACEDUOの導入をきっかけに、SSTを開始できていることに、やりがいを感じています。

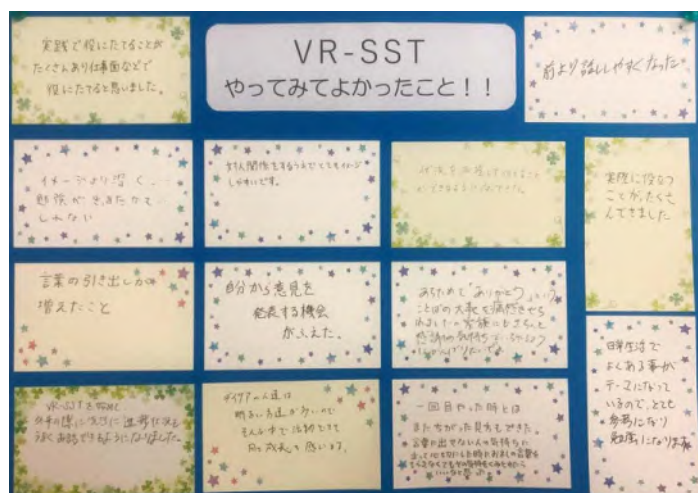


患者さんの反応

リピート率の高さも特徴



- リピート率は高く（毎日参加している患者も出始める）、楽しみながら、自分ごと化してトレーニングに取り組んでいる姿が見られている
- 参加者の反応・スキル向上に大きな手応えを感じている
- 遠巻きに映像を見るだけだった患者さんが、参加メンバーの「一緒にやってみようよ」という声かけをきっかけに参加するなど、今まで集団に馴染まなかったSST参加者が増えている。（VRならではの効果）
- ストーリーが理解でき易いようプログラムが構造化されているため、参加者同士で場が共有しやすく、安心してトレーニングに参加できている
- 口数が増えたというご家族からのコメントや、自信がついた・医師へ発言できるようになった等、参加者から前向きなコメントをもらっている



体験された患者さんからの声を集めています

医師側の変化

医師が積極的にデイケアを紹介する環境へ



(院長 藤本 英生 先生)

デイケアに関心が薄い医師も多かったのですが、FACEDUOの練習に参加しているうちに、自身の患者さんに積極的にデイケアを紹介するようになりました。

心理社会療法については、重要だと認識しながらも、診察の場面で実施するのは難しいのが現実です。

また、どの程度効果が期待できるのか、SST-VRを体験した患者さんの反応や診察での様子を見て、関心を抱き始めたという良い流れが出てきています。

FACEDUOを知ってもらうための取り組み

院内では、外来や待合室でも、患者さんにSSTについて知ってもらう取り組みをしています。

また、退院予定者やデイケア見学者には、VRを実際に体験してもらっています。

集団のセッションに不安を感じる患者さんも多いですが、体験頂くことで、「これならできそう」というコメントを頂くことが多いです。

院外では、スタッフが行政や他医療機関に対し、当院デイケアの新たな取り組みを紹介するなどして、広報活動にも力を入れています。



院内でのポスターや機材の掲示



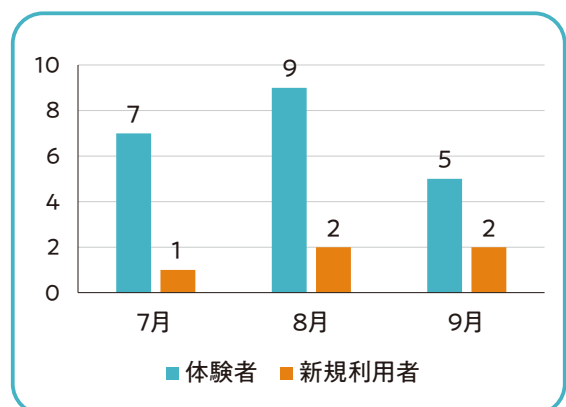
病院ホームページでの発信

デイケア新規利用者の推移

FACEDUO導入以降、デイケア新規利用者数が、毎月順調に増えています。

(導入後3か月で新規利用者が5人増加)

病棟からデイケアに繋がるのみならず、院外からの紹介もあり、デイケアの活性化が功を奏していると言えます。



詳しくは公式サイトにて

faceduo

検索

販売 Otsuka

開発・製造 JOLLY GOOD!